

## 若手研究者コラムリレー

### 村本 宗太郎 (むらもと そうたろう)

#### プロフィール

立教大学スポーツウエルネス学部 スポーツウエルネス学科 助教  
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域: 体育・スポーツ政策/体育社会学

静岡県出身

2006年 静岡県立浜松北高等学校 卒業

2011年 立教大学法学部 卒業

2018年 立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科博士課程後期課程 修了  
博士(スポーツウエルネス学)

2020年 常葉大学教育学部 助教

2023年より現職

E-mail: somuramoto@rikkyo.ac.jp



前列右から2番目が筆者(前任校のゼミ生と)

#### わたしの研究

### 部活動における体罰はなぜ発生し続けるのか？

私は、中学・高校時代にバレーボール部に所属していました。初めて部活動での体罰を見たのは中学校の練習試合の際で、タイムアウト中、相手チームのミスをした選手が指導者から頭頂部へげんこつをされたというものでした。その後、中高の部活動での大会や練習試合等で他校の生徒が指導者から受ける、数多くの体罰・暴言等を見てきましたが、「なぜスポーツでのミスで人は暴力を受けなければいけないのか？」ということは当時から考えており、現在の問題意識としてつながっています。博士論文では、体罰という暴力行為が部活動では指導として受け容れられる様相について、当事者間だけではなく、懲戒と体罰をめぐる裁判例にも視点を向け検討を行いました。

現在も継続して研究を進めていますが、近年では暴力に対する社会的な視線は以前よりも厳しくなり、スポーツ指導現場での暴力は減少に向かっていているように思います。一方でスポーツ指導現場では、暴力に代わって、暴言やいじめに関する相談が増加していることが相談窓口の数字などから指摘されており、安心安全なスポーツ環境には程遠いのが現状であるといえます。(最近ファンによる暴力・暴言も気になります)

スポーツ基本法前文では、「安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」とされています。日本の青少年が体罰やBAHDを理由にスポーツを嫌いになったりやめてしまうことがないよう、誰もがいつまでも楽しむことのできるスポーツ環境のために研究を進めたいと思います。その一つの視点として私は部活動の体罰の問題に向き合っていきたいと考えます。

わたしの渾身の論文・書籍・記事

必読

村本宗太郎(2018)学校運動部活動における体罰の発生要因に関する研究. 立教大学大学院博士論文

#### (なんでも帳)

部活動における体罰問題は、日本体育・スポーツ・健康学会のいずれの領域からでも指摘が可能な問題です。専門領域内の会員間における縦の深さのある指摘と、領域横断による会員間における横のつながりからの多様な指摘を踏まえながら研究に対して多角的なアプローチができるの良いと考えていますし、そのような学びができればと考えています。問題に関心のある先生がいっしょにいましたら学会大会等の場でぜひ意見交換ができますと幸いです。

部活動での体罰とも関連する面があるため、近年の学校部活動から地域クラブ活動への移行にも研究テーマとして注目しています。部活動の地域移行が発表されてから、各自治体によって移行速度は千差万別ながら、地域の実情に合った部活動のあり方が模索されています。状況が類似した自治体であっても部活動に関わる実情は異なりますので、今後全国で様々な形の部活動が現れ運営されていくでしょう。その際に各自治体での活動のあり方に対して、移行できたかできていないか、といった単純な評価ではなく、自治体の実態を踏まえた検討ができるかは重要に思います。自治体の身の丈に合わない無理のある移行をして中学生が誰も参加できない部活動になっては移行の意味が問われます。何のため、誰のための地域移行と部活動であるかに注目しながら考察を行いたいと思います。

最後に、2023年度から学科から学部となった現所属の学部理念は「すべての人の生きる喜びのために」です。自分の研究領域からどのような寄与ができるか考えながら研鑽を積みしたいと思います。

日本体育・スポーツ・健康学会  
若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました！→ [メーリングリスト登録フォーム](https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2):

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

[taiikugakkaiwakate@gmail.com](mailto:taiikugakkaiwakate@gmail.com)

